

聖籠町商工会景況調査報告書

組織番号 0 1 5

商工会名 聖籠町商工会

報告者名 古川 成美

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 聖籠町商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 32 事業所 (うち小規模事業者数 26 事業所)
ウ 回答企業数 32 事業所 (うち小規模事業者数 26 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

平成28年7月～平成28年12月
(調査時点 平成28年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	1	3.1%	1	3.1%
建設業	19	59.4%	19	59.4%
卸・小売業	5	15.6%	5	15.6%
サービス業	7	21.9%	7	21.9%
合計	32	100.0%	32	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

全体的に「不変」の回答が多く、地域の景況としてはあまり変化がなかったと思われる。しかし今後については仕入価格の上昇、需要の停滞等により不安感を持つ事業所も多い。昨年の調査に引き続き、人材の確保を経営上の課題としている事業所が多く積極的に対策を講じていく必要性が感じられる。

【後継者の状況】

「後継者なし」回答事業所の方が多かったが、調査対象に代替わりしたばかりの事業所も多かったことから、他町村と比べれば後継者問題は少ないと思われる。

後継者 あり	15事業所	46.9%
後継者 なし	17事業所	53.1%

【売上高】

前年同期比、前期と比べ売り上げ増と回答した事業所は多く、建設関係の事業所の好況、回復基調が続いたように考えられる。今後の見通しについて、昨年の調査では不変の回答が多かったのに対し、今年は増加するとの回答が増えてきており、明るい見通しを示す事業所が多くなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
12	16	4	14	13	5	13	14	5

【採算】

建設関係の事業所等で、当期までは採算が好転したとする事業所も見受けられた。しかし経費関係についても増加傾向にあり、今後については不変とする事業所が大半で悪化の見通しをあげる事業所も出てきている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
10	20	2	12	17	3	8	20	4

【仕入単価】

消費税増税の影響も落ち着き、仕入単価について不変であるとの回答が多く見受けられた。しかし、低下すると予想する事業所は少なく、上昇すると回答する事業所が3割近い。東京オリンピック開催も3年後に迫り、いよいよ建設関係の需要増に伴う仕入価格の上昇が予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
9	21	2	9	21	2	8	21	3

【販売（客）単価】

販売単価については若干数、上昇や低下と回答した事業所も見受けられたが、不変であるとの回答が多く、全体的にあまり変化がなかったと思われる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
4	23	5	4	23	5	6	20	6

【資金繰り】

悪化したと回答した事業所は少なく、概ね不変、若干数は好転と回答している。今後も大幅な変化は少ないものと思われる。

前年同期比

好転	不変	悪化
4	26	2

前期比

好転	不変	悪化
4	26	2

今後の見通し

好転	不変	悪化
6	23	3

【雇用動向】

不変と回答した事業所が多数であるが、今後も高齢化に伴う自然減が生じることから、雇用については引き続き積極的な姿勢が続くものと思われる。

前年同期比

増加	不変	減少
6	24	2

前期比

増加	不変	減少
7	22	3

今後の見通し

増加	不変	減少
5	24	3

【景況判断】

不変と回答した事業所が多数であるが、好転、悪化の回答も若干数見受けられる。今後の見通しについても、好転と回答した事業所がある一方で、前年同期比、前期比ともに悪化と回答した事業所は、見通しにも不安を抱えているようだ。

前年同期比

好転	不変	悪化
5	24	3

前期比

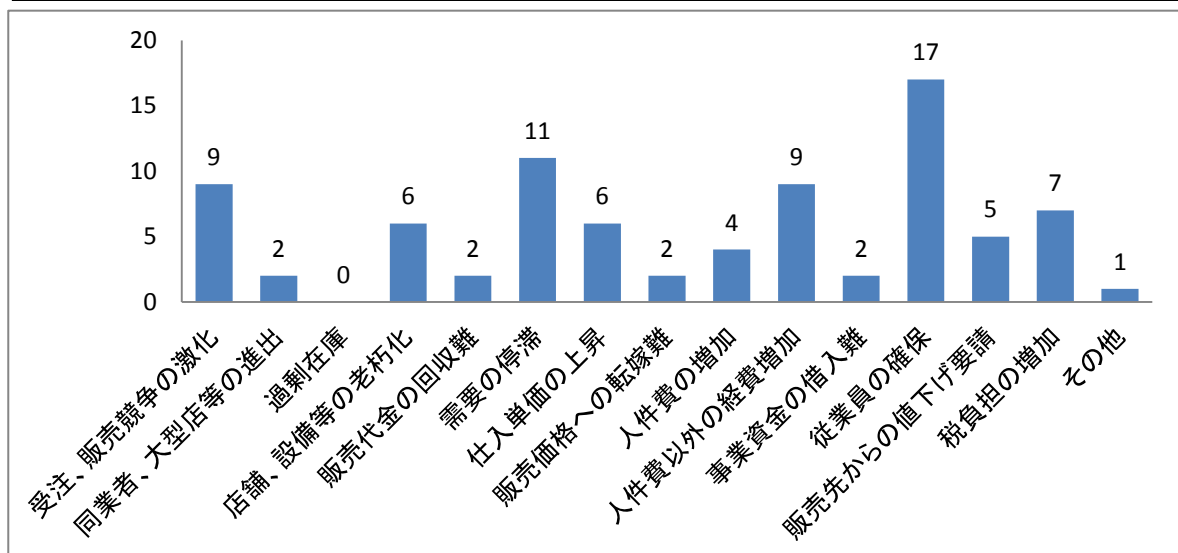
好転	不変	悪化
5	22	5

今後の見通し

好転	不変	悪化
6	21	5

【経営上の問題点】

「従業員の確保」は過半数以上の事業所が挙げており、軽視できない状況となっている。また、「競争の激化」に加え「需要の停滞」や「経費増加」等の回答も多く、先行きに不安を抱えている事業所が増えてきている。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

原材料価格高騰の影響を強く受ける製造業では、仕入単価の上昇が免れない状況になっている。売上や資金繰り等は概ね不変の回答であるが、仕入単価の上昇により、経営が圧迫される恐れがあるため、販売単価の見直しや経費削減等に努めていくことが必要になってくるだろう。

(2) 建設業

他業種に比べ、建設業関連は比較的「好転」や「増加」の回答が多く見受けられ、回復基調が続いている。しかし、人手不足の感は拭いきれず、従業員の確保が困難となっている事業所が多く見受けられた。「人手不足」の解消に求められるものは、労働条件の見直しや組織体制のあり方等長期的な視点での改善が必要となる。また、今後強化したい点として、設備投資と回答している事業所も多く、積極的な姿勢も見受けられる。

(3) 卸・小売業

小売業、特に生活必需品等の販売業については町内大型店や周辺のスーパー、量販店への流出が続いており、その点については免れないのが現状である。経営上の問題点として、設備等の老朽化や税負担の増加などが挙げられており、資金繰りの困難さが伺える。顧客ニーズも変化している時代で、地域小売業として生き残っていくためには、ニーズの把握や価格以外の付加価値の提供が必要となるだろう。

(4) サービス業

サービス業の中でも業種による違いはあるが、「不変」と回答した事業所が比較的多いようであった。経営上の問題点として、「需要の停滞」と回答している事業所も多く見受けられた。景気動向の影響を受けやすい業種であるため、顧客満足度を高め、固定客を逃がさないように工夫する必要がある。また、変化に対応していくことも生き残るためのカギとなるだろう。

(様式③)

No.

景況調査ヒアリングシート（平成28年度）

調査対象期間 平成28年7月～12月

（調査時点 平成28年12月1日）

商工会名		商工会	担当職員名
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。（該当する番号に○を付してください。）

	前年同期 (H27年7～12月)と比較して	前期 (H28年1月～6月)と比較して	今期 (H28年7～12月)と比較した来期 (H29年1～6月)の見通し
売上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕入単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売(客)単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇用動向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景況判断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

(2) 貴社の経営上の問題点（下記より上位3つまでを選び、○を付してください。）

- ①受注、販売競争の激化 ②同業者、大型店等の進出 ③過剰在庫
④店舗、設備等の老朽化 ⑤販売代金の回収難 ⑥需要の停滞
⑦仕入単価の上昇 ⑧販売価格への転嫁難 ⑨人件費の増加
⑩人件費以外の経費増加 ⑪事業資金の借入難 ⑫従業員の確保
⑬販売先からの値下げ要請 ⑭税負担の増加
⑮その他（ ）

(3) 今後の事業・経営において強化したい点（設備投資・販路開拓等）

--